



## みんな全力・みんな笑顔の運動会



2025/05/18



2025/05/18



2025/05/18



2025/05/18



昨日の運動会は、感動の一言でした。どの子どもも全力で競技に取り組み、最後の最後まで一生懸命に取り組む姿に、胸が熱くなりました。

1年生の♪チェッコリ♪の踊り付きの玉入れは、可愛くて目尻が下がりました。

2年生と4年生の団体競技は、最後のアンカーまで赤白のどちらが勝つか分からない白熱の勝負でした。

3年生の「綱がれ！友情パワー」は、綱を引く人数が途中で増えていく、見ごたえのある競技でした。

5年生の「綱取物語 2025」は、綱を引く力だけでなく、それぞれの作戦があり、奥の深い競技でした。

6年生の借り物競走は、地域の人と手をつないだり、うちわを借りたりしながら、地域の方も楽しんで協力していただきました。

3・4年生の疏水音頭は、婦人会や先生方も参加し、流れる水を表現した、地域の伝統文化を引き継ぐ大切な踊りを披露しました。

5・6年生の「ソーラン節」は圧巻の一言でした。心が揃い、声が揃い、運動場ところ狭しと演技する姿に、全ての人が魅了されました。

また、5・6年生の係の子が全力で走り、自分の仕事に一生懸命に取り組む姿が、運動会全体をキビキビしたものにしてくれました。

そして、町民運動会ならではの、地域の方々と一緒に競技を通して、地域の方々の優しさや温もりに触れ、ふるさとが好き心が育ったことを感じました。

# 引き渡し訓練、ありがとうございました！



この引き渡し訓練は、どうしても行いたいものでした。訓練をしておけば実際の動きの想定ができ、特に子どもたちにとって、(この場所で待っていればお家の人に来てくれる)という安心感を持たせることができるからです。

訓練は、大きな混乱もなく、スムーズに短時間で行うことができました。

保護者の皆様のもとに行った時に見せる子どもたちの安心した笑顔を見て、安心感を持たせる訓練ができて良かったと思いました。ご協力ありがとうございました。

## 全ての出来事を力に変え未来に向かう子



閉会式の得点発表。子どもたちは、自分たちが勝ったのかを息を飲むように点数を聞いていました。僅差で赤が勝ちました。その瞬間、赤組の子はパッと笑顔になり、白組の子は悔しそうな顔を浮かべました。白組の子は、頑張ったのに悔しいという思いで一杯になったと思います。涙を浮かべそうな子も見えました。その顔を見た時、私も胸が一杯になりました。一生懸命に頑張った、どちらの組も勝たせたいと思いました。

しかし、スポーツの世界をはじめ、勝負の世界には必ず、勝ち・負けがあります。生きていく中で、うまくいかないことも起きるのが人生です。うまくいかないことが続くこともあります。その時に大事なことは、「成功や失敗、勝ち、負けも含めて、起こった出来事を今後にどう生かしていくか」という「未来」へ向かう視点だと思っています。うまくいかなかった「過去」にこだわり続け、「過去」に生きるのではなく、どう生かしていくかという「未来」に視点を置き、「未来」へ明るい気持ちで向かう子に育ててほしいと思います。

「目は何で顔の前についているのですか」という問いに対し、「未来を見るためです」という言葉がある本に載っていました。悔しさも、今後へのバネにして、さらに強く生きる子どもたちに育ててほしいと願います。

## タオル、850枚も届きました！



急なお願いにも関わらず、古タオル・バスタオルが学校に850枚届きました。誠にありがとうございます。早速、運動会の日朝、朝露で濡れていた芝生の滑りやすい走路のコーナーを、先生方で拭き取っていきました。それにしても、850枚です。驚きの一言です。ありがたいの一言です。本当にありがとうございました。